

## 瀬戸の小島から音楽発信

ID 番号 : SL20277

香川県丸亀市立小手島中学校 3年

チームリーダー 小崎妙佳

チームメンバー 藤井孝侑 藤井康友

指導教諭 西山晋作

### 銘柄一覧

・ソニー	120 万円
・バンダイ	80 万円
・内田洋行	60 万円
・タイトー	50 万円
・ヤマハ	30 万円
・第一興商	30 万円
・日本コロムビア	30 万円
・パイオニア	30 万円
・日本ビクター	30 万円
・タカラ	30 万円
・カシオ計算機	10 万円

### 1 テーマの設定理由

私たちの学校は、瀬戸内海に浮かぶ小さな島「小手島」にあります。小学校と一緒にあって、全校生徒は13名います。とても小さな学校ですが、毎日活気にあふれています。

さて、今回テーマを設定するにあたり、担任の西山先生からアドバイスを受けました。私のクラスは3人です。先生は「3人が興味を持つことから考えてみては」と言いました。なるほどと思い、3人で話し合いましたがなかなかまとまりません。私たちは、保育所から小学校、中学校3年までずっと3人のクラスでした。考えてみると、実に12年目の仲ともいえます。お互いの長所も短所も分かっています。しかし、なぜか興味のあることが異なります。特に私は、女子なので2人の興味と大きく違うのです。何日も何日も休み時間などを利用して話し合いましたが、そんなある日のことです。ふと話がとぎれたとき、耳に入ってきたのは浜崎あゆみの音楽CDでした。そのとき、3人ともこれだ！と思いました。3人とも浜崎あゆみのファンだったのです。私たちの学級では、休み時間になると家から持

ってきた CD をかけて聞いています。そのことに今まで気がつかなかったのです。そこで、私たちはテーマを「音楽」と設定し、購入銘柄を決定していくことにしました。

## 2 銘柄の設定課程

私たちはテーマを「音楽」と決め、購入銘柄を選んでいくことにしました。しかし、「音楽」というテーマではあまりにも広すぎます。そこで、まずイメージマップを作成し、「音楽」から連想することを書き出してみました。すると三者三様となり、それぞれサブテーマを決定することにしました。それがこれです。

小崎 妙佳・・・『カラオケ』
藤井 孝侑・・・『CD』
藤井 康友・・・『楽器』

では、それぞれがなぜこのようなサブテーマを設定したのか、またその結果、どのような購入銘柄を決定したのかを述べたいと思います。

### (1)小崎 妙佳 『カラオケ』

わたしは、よく家族でカラオケに行きます。そこから音楽と聞いて、思い浮かんだのがカラオケです。そこで、私はまずカラオケの歴史を調べることにしました。それは次のようにまとめることが出来ました。

昭和51年	クラリオンが業務カラオケを開発。「カラオケ」と命名
昭和55年	8トラック「カセットタイプ」のカラオケが登場
昭和57年	業務用「レーザーカラオケ」登場
昭和58年	業務用「VHDカラオケ」登場
平成2年	カラオケボックスが全国的な人気
平成4年	「通信カラオケ」の登場

そんな時、私は特に平成4年から登場した、通信カラオケに興味を引かれました。私の住んでいる香川県は、東京都からかなり離れたところにあります。しかし、カラオケにある曲は最新のものが入っています。それが通信カラオケだ、ということは何となく知っていましたが、詳しくは知りません。そこで、通信カラオケについて調べることにしました。

するとつぎのようなことが分かりました。

通信カラオケとは、従来のようなディスクは使わず、音楽をデータ化して電話回線で提供するシステムのことです。
--

特徴は次の通りです。

メリット(長所)

新曲の配送が速い  
省スペースで設置

デメリット(短所)

昭和46年以前に作られた楽曲は配信出来ない。  
・背景動画の配送は容量が大きすぎて、送れない。

調べてみて、思い当たることがありました。一つはカラオケボックスの部屋が小さいなあと感じることがあったこと。もう一つは、歌と関係のない画像が繰り返し流れていることです。しかし、回線が ADSL 回線になると背景動画も送れるようになるそうです。通信カラオケのデメリットがまた一つ、減ってしまうのです。ますます通信カラオケはやるのだと思いました。そこでわたしは、通信カラオケメーカーを調べてみることにしました。すると以下の9社が通信カラオケを出していました。

・タイトー  
・ギガネットワークス  
・エクシング  
・ワキタ  
・セガ ・ミュージック・ネットワークス  
・ビクター  
・第一興商  
・パイオニア  
・大阪有線

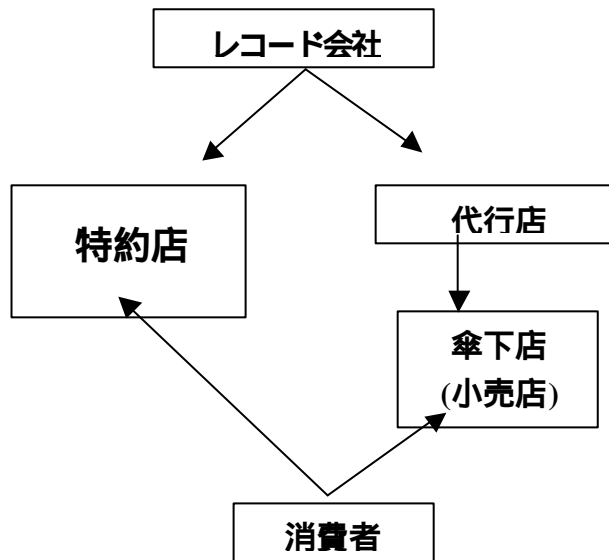
この中で、株式を上場している企業を調べると以下の様になりました。

第一興商  
パイオニア  
タイトー  
ビクター

よって、わたしはこの 4 銘柄を買うことに決めました。それともう一つ私が好きなカラオケがあります。それは「e-kara」です。テレビにつなぐだけでそれは、家がカラオケボックスになるすぐれものです。この「e-kara」は、調べ見ると「タカラ」が出していることが分かりました。そこでわたしは、4 つの購入銘柄にこの「タカラ」を加えて 5 銘柄を買うことに決めました。

(2) 藤井 孝侑 「CD」

ぼくは、よく CD を買います。特にぼくはポルノグラフィティのファンなのでたくさん持っています。いつも行きつけの駅前のレコード店で買うのですが、あの店までどのような経路で CD が流通しているのか知りたくなり、調べることにしました。すると次のようなことが分かりました。



レコード会社は特約店と代行店の二つのルートで CD を流通させているようです。このうち代行店はさらに傘下店と呼ばれる小売店に卸しています。傘下店の代表は「星光堂」で、特約店の代表が「タワーレコード」だそうです。ぼくはおそらく「星光堂」から卸された傘下店から CD を買ったことになるのだと思います。そこで、「星光堂」と「タワーレコード」の株式を購入したいと思い調べると、両方とも上場していないので買えないことが分かりました。

次にレコード会社を調べました。すると次のような企業がありました。

- |           |                 |         |         |
|-----------|-----------------|---------|---------|
| ・日本コロムビア  | ・ビクター           | キングレコード |         |
| ・テイチク     | ・ホリグラム          | 東芝EMI   | ・日本クラウン |
| ・徳間ジャパン   | ・ミュージックエンタテイメント |         |         |
| ・ポニーキャニオン | ・ワーナーミュージックジャパン |         |         |
| ・バンダイ     | ・ソニー            |         |         |

上記の中で、株式を上場している企業を調べると、次の3社がありました。

- ・ 日本コロムビア
- ・ ソニー
- ・ バンダイ

そこで、この4社の株式をぼくは購入したいと考えました。

### (3) 藤井 康友 「楽器」

ぼくは、音楽と聞いて「楽器」をイメージしました。その理由は、先日行われた文化祭では、全校性で合奏したからです。ぼくの学校では、運動会などの行事には合奏することが多いのです。そこでまず、音楽室にある楽器を調べることにしてみました。すると次のようになりました。

- ・ キーボード、大太鼓、小太鼓、鍵盤ハーモニカ、ギター  
アルトリコーダー、タンバリン・・・・・・・・・・ヤマハ
- ・ キーボード、ティンブトン・・・・・・・・・・鈴木楽器株式会社
- ・ シンバル・・・・・・・・・・ヤマヨ
- ・ ミュージックベル・・・・・・・・・・内田洋行
- ・ キーボード・・・・・・・・・・カシオ計算機

上記の中で、株式を上場している企業を調べると、次の3社がありました。

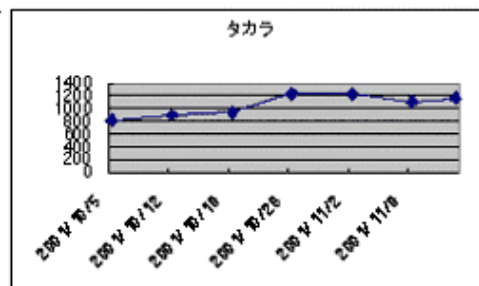
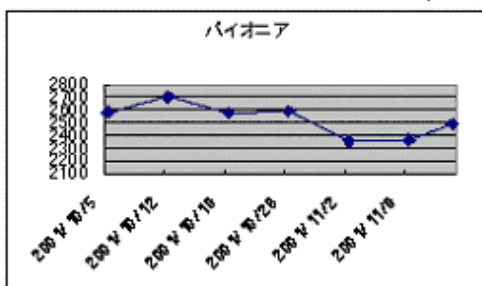
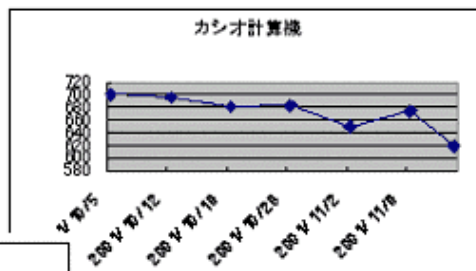
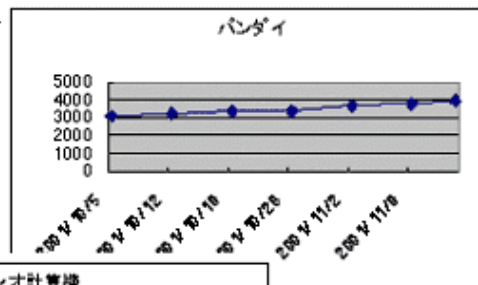
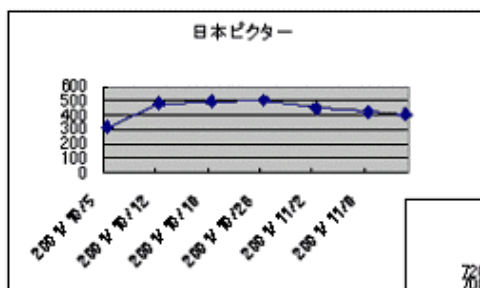
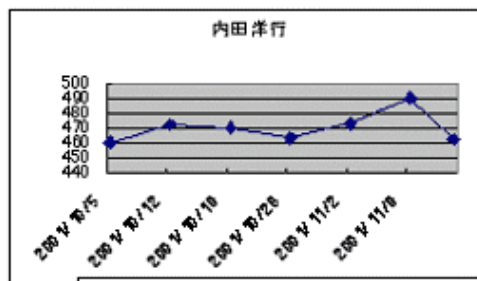
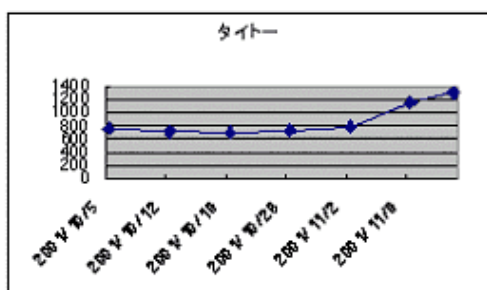
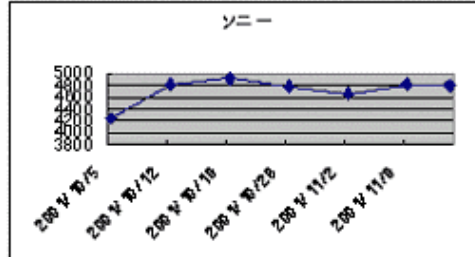
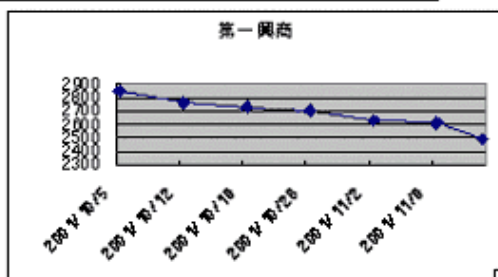
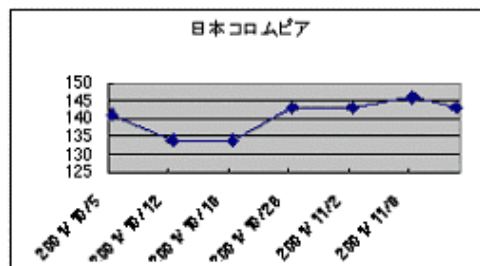
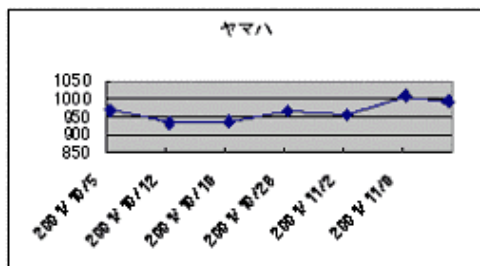
- ・ ヤマハ
- ・ 内田洋行
- ・ カシオ計算機

そこで、上記の銘柄を購入しようと考えました。

以上が購入銘柄の設定課程です。そこで次に、どの銘柄をいくら購入するのかという、購入配分を話し合うことにしました。

### 3 購入銘柄の配分予定

わたしたちは、購入銘柄を決定すると、次はいくらずつ購入するか話し合いました。まず、私たちは「日本経済新聞」の株式欄を毎日見ていき、それをグラフにすることにしました。それがこの表です。



もちろん、この表は短期間だけの変動だと分かっています。分かっているけれども、あえてこのグラフを基準に、購入配分を考えてみることにしました。やはり自分たちで作ったグラフだからです。そんな時、新聞に目を通していると、次のような記事を目にしました。

2001年11月9日付 日本経済新聞朝刊 (P.35)

『今度は近未来デザイン』

---ソニーが新型「AIBO」---

私たちはさっそく、「AIBO」について調べてみることにしました。価格は18万円と高額ではあるけれど、前作よりも機能が充実しているようでした。そこで、「AIBO」について、私たちは全校生徒と先生方にアンケートをとって見ることにしました。

結果は次の通りです。

ペットを飼ったことがありますか。	はい	14名	いいえ	3名
------------------	----	-----	-----	----

犬を飼うのが面倒だなと思うときはどんなとき。	散歩のとき ・フンの後始末 抜け毛の後始末
------------------------	-----------------------------

面倒さを解消したロボット犬 AIBOを飼いたいと思いますか。	はい	5名	いいえ	12名
--------------------------------	----	----	-----	-----

この結果をみて、最初は「AIBO」を飼いたいと思う人が少ないと感じました。しかし、よく考えてみると30%の人が飼いたいと思っていることに気づきました。まさに、発想の転換ですが、もし今後、18万円の価格が低くなるならばどれだけの人が飼いたいと思うことでしょうか。人間はわがままです。しかし、そのわがまま(欲求)を実現してこそ、進歩があると思います。ソニーは、将来性のある製品を作り出すエネルギーにあふれているように感じます。よって、ソニーの株に120万円分購入することにしました。

次に将来性のある企業は「バンダイ」「タイトー」と判断しました。両企業とも玩具メーカーで将来性もあるだろうと思われるし、私たちが作成したグラフでも安定して上昇していたからです。

次に多く買ったのは、「内田洋行」です。これは私たちの思い出が詰まっている「ミュージックベル」のメーカーだからです。昨年に行われた集団宿泊学習でのスタンツや、立志式での演奏など中学時代の思い出の象徴だからです。

一方、自分たちの作成したグラフを見て、将来性の低い企業を「カシオ計算機」と判断し、他の銘柄よりも安く購入しました。以上の購入配分をまとめると以下ようになります。

・ソニー	120万円
・バンダイ	80万円
・内田洋行	60万円
・タイトー	50万円
・ヤマハ	30万円
・第一興商	30万円
・日本コロムビア	30万円
・パイオニア	30万円
・日本ビクター	30万円
・タカラ	30万円
・カシオ計算機	10万円

### 3 終わりに

私たちにとって、株式は全く未知の世界のものでした。株式の存在さえ知らないくらいでした。しかし今回、ストックリーグに参加させてもらっているいろいろなことを学ぶことが出来ました。ありがとうございました。

私たちの小手島では、新聞をとっている家庭も少ないのが現状です。私たちは新聞を見る習慣さえありませんでした。新聞で株式を見たり、インターネットを利用したりとても自分のためになったと思います。中でも、株式を購入する際、市の研究会で銘柄を選んだ理由を多くの先生方の前で、発表したのは大変でした。多くの先生が見に来るだけで、緊張するのに、一人ずつ発表までしたのだから、私たちにとっては一大イベントとなりました。発表はパソコンを使用し、プレゼンテーションの形式で行いました。後で、とても上手に発表できていたとほめられたのでうれしかったです。

最後に、私たちは10年後を考えました。株式をしているかどうかを考えました。もちろんそんな先のことは、分かりません。しかし、想像は出来ます。きっと株式を行っていることでしょう。